

第10回地域復興マッチング「結の場」(気仙沼市)の開催について

復興庁では、被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路などを幅広く提供する支援事業の形成の場として、「地域復興マッチング『結の場』」を実施しています。

今般、第10回目となる「結の場」を以下のとおり開催いたします。

1. 日時・場所

日時:平成27年2月13日 13:00～17:00

場所:サンマリン気仙沼ホテル観洋(宮城県気仙沼市港町4-19)

2. 主催

復興庁、気仙沼商工会議所

3. 参加企業

【被災地域企業等:9社】(すべて水産加工業)

1	(株)阿部長商店	4	カナエフーズ(株)	7	FishMarket38有限責任事業組合
2	(株)石渡商店	5	(株)カネマ	8	(株)フジミツ岩商
3	(株)小野万	6	(株)八葉水産	9	(株)マルヤマカ高順商店

【支援提案企業等:28社】 ※は、初参加の企業・団体

1	インフォコム(株)	11	大日本印刷(株)	21	(株)日立製作所
2	SCSK(株)	12	(株)丹青社	22	富士ゼロックス(株)
3	王子コンテナ(株)	13	テルウェル東日本(株)	23	(株)富士通マーケティング
4	カルビー(株) ※	14	東京海上日動火災保険(株)	24	三井住友海上火災保険(株)
5	麒麟(株)	15	日本たばこ産業(株) ※	25	森永乳業(株)
6	KDDI(株)	16	日本電気(株)	26	(株)LIXILグループ
7	広友ホールディングス(株)	17	(株)乃村工芸社	27	イノベーション東北
8	住友化学(株) ※	18	(株)博報堂 ※	28	(一財)東京顕微鏡院
9	(株)積水化成品東北 ※	19	パナソニック(株)		
10	総合警備保障(株)	20	東日本電信電話(株)		

4. 取材

- ・カメラ撮り可

- ・当日の取材を希望される社(者)は、社名、取材代表者氏名、カメラ撮り希望の有無(有の場合はスチールかムービーの別)を、復興庁企業連携推進室(kigyorenkeisuishinshitsu@cas.go.jp)まで事前登録をお願いいたします。

<登録締切:2月12日(木)17時まで>

5. 前回(平成 27 年 2 月 5 日岩手県大船渡市)のワークショップの様子



(本件に関するお問い合わせ先)

復興庁 企業連携推進室 麻岡、中村、皆藤 (TEL : 03-5545-7365)

第10回 地域復興マッチング「結の場」(気仙沼市) プログラム(案)

日時：平成27年2月13日(金)13:00～

場所：サンマリン気仙沼ホテル観洋

【第1部】 復興に向けた対話(13:00～17:00)

1. 開会
2. 主催者挨拶
復興庁
気仙沼商工会議所
3. 来賓紹介
4. 講演
・気仙沼の現状について
5. 地域復興マッチング「結の場」について
・「結の場」の概要及び進行の説明
6. ワークショップ
7. 今後のスケジュールについて

【第2部】 交流会(17:00～18:30)

※当日の午前中、支援提案企業の希望者を対象に、被災地域見学を予定しております。

地域復興マッチング『結の場』の実績と成果

ワークショップ開催実績・開催予定

	開催日	開催場所	地域企業	支援企業		開催日	開催場所	地域企業	支援企業
第1回	H24.11.28	宮城県石巻市	13社	35社	第6回	H26.2.6	福島県福島市	8社	26社
第2回	H25.2.13	宮城県気仙沼市	10社	33社	第7回	H26.12.9	福島県南相馬市	8社	29社
第3回	H25.11.7	宮城県南三陸町	6社	21社	第8回	H27.1.22	宮城県多賀城市	7社	29社
第4回	H25.12.4	宮城県亘理町	6社	19社	第9回	H27.2.5	岩手県大船渡市	9社	26社
第5回	H26.1.29	岩手県宮古市	6社	26社	第10回(予定)	H27.2.13	宮城県気仙沼市	9社	28社

第2回気仙沼における主な成果

地域資源のブランド化を支援

【被災地域企業】

中華高橋水産/ムラタ/石渡商店/福寿水産/
カネヒデ吉田商店/高橋水産/村芳特殊水産/
三陸鮫類

【支援提案企業】

アサヒグループホールディングス/NTTドコモ/
丹青社/大日本印刷/電通東日本/Yahoo! JAPAN

×

○気仙沼の地域資源であるサメ肉の高付加価値化や地域のブランド化を目指し、新商品開発やPR活動に協力して取り組んでいる。

○都内で「サメ肉を使った中国料理コンクール」を開催するなど創造的な活動も継続的に取り組んでいる。



PR活動の一環で、サメ肉の料理コンクールを開催(写真は受賞作品)。

社員食堂で被災地食材を使った支援メニューを提供

【被災地域企業】

阿部長商店

【支援提案企業】

三井不動産

×

○被災地域食材の消費拡大を図るため、大手企業の社員食堂のランチメニューを、被災地域企業と大手企業で共同開発。

○試験販売を通じて、常設メニュー化。提供する社員食堂も、都内5カ所に拡大するとともに、関連メニューも2種類から4種類へ拡充した。



「結の場井」として、社員食堂における常設メニュー化し、提供中。

新商品開発支援プロジェクト

【被災地域企業】

八葉水産

【支援提案企業】

凸版印刷

×

○自社ブランドの確立による販路拡大を目指し、気仙沼の食資源調査や被災地域企業のシーズ探査等を実施。新商品の共同開発を行った。

○新商品のブランドブックは、「第56回 全国カタログ展※1」で「日本商工会議所会頭賞」を受賞。通販及び百貨店等での直接販路開拓にも成功した。



開発した新商品の「ギフトパッケージ」と「ブランドブック」

※1 日本印刷産業連合会主催